



2015年1月24日(土)

時間 14:00～16:30(13:30開場) / 参加費無料

場所 芝浦工業大学豊洲キャンパス 交流棟6階 大講義室

申込先 <http://plus.shibaura-it.ac.jp/coc/events/558/>

[シンポジウム・プログラム] 14:00～16:30

○開会・趣旨説明

○基調講演「まちづくりの拠点としての大学」

佐藤滋氏(早稲田大学理工学術院教授 早稲田大学都市・地域研究所所長)

○今年度COCプロジェクトの取り組み

志村秀明、前田英寿、中村仁、岩倉成志(芝浦工業大学)

○パネルディスカッション「まちづくりの実践と教育プログラム」

司会：志村秀明(芝浦工業大学)

パネリスト：桑田仁、作山康、岩倉成志(芝浦工業大学)

コメンテーター：佐藤滋氏(前掲)

○閉会

○懇親会 17:00～(交流棟2階生協カフェテリア / 会費 2,000円)

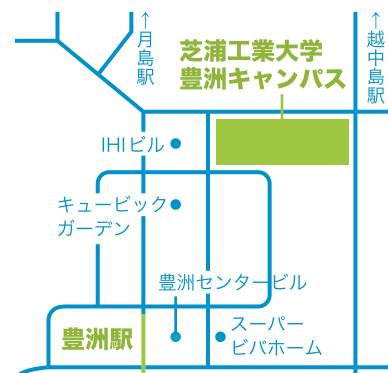
[主催] 芝浦工業大学 [後援] 江東区 / 港区 / 埼玉県 / さいたま市

[連絡先] 芝浦工業大学複合領域産官民連携推進本部・地域共創センター

Tel. 03-5859-7180 / E-mail : sangaku@ow.shibaura-it.ac.jp



平成25年度文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」
芝浦工業大学「まちづくり」「ものづくり」を通した人材育成推進事業



芝浦工業大学における サービス・ラーニングの可能性

芝浦工業大学は、東京ベイエリアである豊洲や芝浦、東日本の玄関口である大宮という特徴的な地域にキャンパスが立地し、各地域で教員や学生がまちづくりに関わっています。平成25年度には文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」に採択され、より一層、地域志向の教育・研究・社会貢献のあり方を模索している所です。



そこで、各キャンパスが合同で、これら地域に関わる多様な立場の皆さんと一緒にまちづくりを考える場を設けたいと思います。

今回は、まちづくりと大学の可能性について広く考えるとともに、大学での学習と地域への貢献活動を組み合わせた教育・学習手法“サービス・ラーニング”について話し合います。まちづくりに関わる専門家、市民、NPO、自治体、企業など様々な方にご参加いただければ幸いです。

- 内部河川・運河の活用とコミュニティ強化プロジェクト(代表 建築学科 志村秀明)
- まちづくりコラボレーションさいたまプロジェクト(代表 環境システム学科 中村仁)
- 芝浦アーバンデザイン・スクールプロジェクト(代表 デザイン工学科 前田英寿)
- 東京湾岸域における交通・都市プロジェクトの未解決計画と対象とした
産官学共同PBLプロジェクト(代表 土木工学科岩倉成)

芝浦工業大学まちづくり系プロジェクトにおける取り組み例

各プロジェクトでは様々な取り組みを行っています。本シンポジウムでは、これらの取り組みをご紹介するとともに、まちづくりの拠点としての大学のあり方、まちづくりの実践と教育プログラムの関係づくりなどについて、多様な視点からディスカッションを行い、まちづくり分野における“サービス・ラーニング”的なポイントを抽出したいと思います。

内部河川・運河の活用社会実験

東京湾岸地域に多く存在する運河を活用して、住民や商店会、NPO、民間事業者、自治体が豊洲地区運河ルネサンス協議会を組織し、水辺の魅力づくりとコミュニティづくりに取り組んでいます。「豊洲水彩まつり」「船力フェ社会実験」といったイベントの開催、船着場の管理などに取り組んでいます。芝浦工業大学は、この協議会の事務局を務めています。



芝浦アーバンデザイン・スクール

芝浦アーバンデザイン・スクールは大学と地域が連携して都市の魅力と課題を再発見・再検討するプロジェクトです。本学芝浦キャンパスのある東京都港区を中心に2013年秋に始動しました。区指定文化財の木造建築を題材とした学部3年生のデザイン演習、水辺空間のフィールドワークや国際学生ワークショップ、市民と学生と一緒に学ぶ公開講座など教育、研究、社会貢献を連動しながら進めています。



サテライトラボ上尾

コミュニティ活動の拠点として、また、学外教育活動の拠点として、高齢化が進む団地内に大学施設を開設し、UR都市機構や団地自治会などと連携した活動を行っています。居住者と学生がコミュニケーションを重ねながら、高齢化社会への対応や地域の活性化に向けた教育・研究・交流を進めています。



交通・都市プロジェクトの産官学共同PBL

東京湾岸域において、官公庁や企業が構想・調査を行っているものの計画決定に至っていない難プロジェクトに、学生ならではの斬新な発想でソリューションを提案します。地域（行政・企業）から検討テーマを提供していただき、ディスカッションを行なうながら、実プロジェクトと同様の検討ステップを実践します。

